

# 12月定例議会 町政報告

令和2年第9回町議会が12月10日から17日までの会期で開かれ、条例制定・補正予算等15議案が可決されました。町政報告の要旨をお伝えします。

## 町政報告要旨

### 『新編 小坂町史』編さん事業の進捗状況と発刊の延期

『新編 小坂町史』編さん事業は、昭和50年に刊行された『小坂町史』発刊後の歩みを振り返って記録するとともに、新たな資料の発掘と調査により町の歴史を再検証するため、平成29年度に開始しました。

発刊は、町制施行65周年となる令和2年中を目途とし、町史編さん委員10人、町史編さん協力員15人及び編さん室職員が、小坂町の自然や歴史など各分野を担当し、資料調査や執筆作業を進めてきましたが、現地調査や聞き取り調査のほか、古文書や行政文書等を丹念に調査研究したことで、編さん作業が遅れが生じている現状です。

10月28日に、町史編さん委員と協力員との合同会議を開催し、現状を踏まえた今後のスケジュールについて審議し、状況を鑑みて工程を組み直すこととし、令和3年度内の発刊とすることが承認されました。

発刊が遅れることは残念で

すが、その分、内容の充実した、すばらしい『新編 小坂町史』になることを確信しています。

### ▼コンビニ交付サービスの開始

11月2日から、全国のコンビニエンスストア等で、マイナンバーカードを利用した住民票等の証明書を取得できるサービスを開始しました。

このサービス開始により、全国のコンビニエンスストア等の店内にあるマルチコピー機を利用して、住民票、印鑑証明書、所得課税証明書は6時30分から23時まで、戸籍全部・個人事項証明書、戸籍附票は平日9時から17時15分まで、それぞれ取得できるようになります。

### ▼康楽館創建110年特別公演

今年度は康楽館が創建されて、110年目を迎える年に当たるため、節目にふさわしい催しを昨年度から計画していました。

関係者等との協議により、「天空の魚影」のように、地元の人材に貢献した人物を題材にした、新しい劇を作ることに決定し、小坂鉱山発展の

礎を築いた「久原房之助」を題材とすることにしました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、康楽館を休館せざるを得ない状況となり、この間はシナリオ作成などの準備を進めてきました。

康楽館では、徹底的な感染防止対策を行った上で、10月2日から31日までの約1か月公演を行いました。

この公演では、町民の観劇料は無料とし、併せて町内の学校についても無料としました。

期間中の入場者は、全体で3672人、一日平均の入場数126.6人で、このうち、町外からの有料入場者数は2890人でした。

### ▼今冬の除雪体制

7月22日、「小坂町雪対策連絡協議会」を開催し、今冬の活動方針や除雪計画等を説明し、意見交換を行いました。

今年度も、自治会内の共助により行われる除雪作業の燃費を町が補助するなど、町民に必要とされる施策を引き続き実施していきます。

今冬の除雪体制は、主要路

線については小坂まちづくり株式会社業務を委託し、大型除雪車が入れない狭い路線及び一部の歩道除雪は、町が直接業者と契約して行うほか、大地自治会では今年度も地域内の除雪を実施します。

さらに、町内道路の除雪がスムーズに進むように、国・県道を管理する秋田県との連携を、より一層深めていきます。

### ▼令和2年産米の生産状況

令和2年産の米生産は、需要に応じた米生産に生産者自らを取り組む新たな枠組み「生産の目安」を参考とした生産計画の3年目になりました。

主食用米の生産状況は、秋田県から示された「生産の目安」をもとに、鹿角地域農業再生協議会で鹿角地域の「生産の目安」が算定され、小坂町の主食用米の目安数量は1200トン、目安面積換算では229.8ヘクタール、目安率は56.2%となり、各農家には目安率に応じた個別の目安となる面積等をお知らせしました。

各農家に水稲生産実施計画書を提出してもらい、農林班において春・夏・秋の転作作物

等取組状況の現況を確認した結果、町の主食用米の最終取組面積は210.8ヘクタールとなり、前年より5.4ヘクタール増えました。

次に、米の集荷状況は、11月27日現在で1万2689俵の集荷量となりました。農家からの予約申し込み数量は、1万2332俵でしたので、出荷率は102.9%となりました。

また、当町の1等米比率は、11月27日現在で92.6%でした。なお、鹿角市は90.4%で、東北農政局発表の秋田県産水稲うるち玄米1等米比率は、10月末現在で91.8%となっています。

### ▼地域応援商品券・緊急宿泊助成券の使用状況

地域応援商品券は、7月20日現在の町民1人につき、5千円分を全町民に交付しました。商品券の使用期間は8月1日から10月31日までとし、世帯ごとに書留郵便で送付しました。

対象世帯数は、7月20日現在で2362世帯・4928人で、最終的な受取不能数は19世帯20人となり、送付率は99.2%でした。